



## 教科書を音読しよう

1号の「ののちゃん」に続いて、今回の4コマ漫画は読売新聞の「コボちゃん」です。物を覚える時、声を出すことは有効です。

家で勉強する時、教科書を、音読してみましょう。小学校の時に

「家で教科書を音読して、保護者の人に聞いてもらいましょう」

という国語の宿題が出た記憶がある人も多いと思います。音読は

目、口、耳の3つの器官を同時に使うので、脳にいい刺激がいき

ます。言語に関する学習である国語や英語は当然ですが、社会や

理科も声を出して繰り返し読んでみましょう。「勉強がよくわか

らない」という人がいますが、そういった人は教科書を声を出し

て読む練習をしているのでしょうか。字を眺めているだけではない

でしょうか。眺めているだけだと、理解していなくても、なんとなく「勉強した」気

分になるかもしれません。声を出していけば、読めない語句がわかります。読めない

語句は意味の理解も不十分であることが多いです。

是非、学習の基本である教科書を何回も繰り返し、スラスラ読めるまで、音読して

みましょう。それだけでも、かなりの効果があるはずです。「読書百篇、意おのずから

通ず」という言葉があります。同じところを、何度も繰り返し読んで練習していく。

そうすると、中身を理解できるようになります。